

公益財団法人滋賀食肉公社および株式会社滋賀食肉市場に係る経営健全化方針に基づく取組状況（令和6年度）

法人名： 公益財団法人 滋賀食肉公社

○経営健全化方針を策定した理由：

滋賀食肉センターの運営・経営健全化は、当法人と株式会社滋賀食肉市場が一体的に取り組む必要がある。
 また、滋賀県行政経営方針(平成27年3月)においても、当法人は、経営状況の改善に向けて県が重点的関与を行う法人と位置づけられている。
 以上の点から、株式会社滋賀食肉市場とともに、当方針の策定対象と位置づけたものである。

○財政的リスクの状況

	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和8年度末 における目標
累積損失額(千円)	951,716	922,042	906,920	890,260	839,678	805,901	634,726
損失補償の額(千円) [A]	2,000,768	1,885,171	1,769,574	1,653,976	1,538,379	1,422,781	1,075,989
本県の標準財政規模(千円) [B]	332,107,763	334,637,307	337,982,241	354,095,378	346,850,325	352,918,448	—
実質赤字の早期健全化基準(%)	3.75%	3.75%	3.75%	3.75%	3.75%	3.75%	—
[A]÷[B] (%)	0.60%	0.56%	0.52%	0.47%	0.44%	0.40%	—

公益財団法人滋賀食肉公社および株式会社滋賀食肉市場に係る経営健全化方針に基づく取組状況（令和6年度）

法人名： 公益財団法人 滋賀食肉公社

○主な取組状況

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- 牛のと畜頭数については、計画頭数を上回り過去最高となり、前年度に引き続き、単年度黒字を計上したが、多額の累積債務に加え、施設・設備の更新・修繕に係る費用が増加するとともに、電気料金や燃料費、廃棄物処理費の増加等から、収支改善が思うように進まず、資金繰りは依然として悪化傾向にあるなど、厳しい経営状況が継続している。

こうした状況を踏まえつつ、滋賀食肉センターあり方検討の取組に参画し、また、更なる経営の健全化を図り、センター運営の安定的な持続を実現するため、令和4年度に策定した第4次経営健全化計画に基づき、収益の確保や経費の節減等の収支改善に向けた取組を進めた。

【県による財政的なリスクへの対処のための対応】

- 消費者に対する安全で安心な食肉の安定供給と、近江牛をはじめとした本県の畜産振興を目的とする滋賀食肉センターの業務の円滑化および安定経営の実現に向けた取組を支援した。
- 当法人の経営改善の取組状況について、外部有識者から意見を伺った。
- 公益財団法人滋賀食肉公社において、施設・設備の計画的な更新・修繕、適切な管理が行えるよう、引き続き必要な支援を行う。
- 滋賀食肉センターを開設してから約17年が経過するなかで、施設・設備の更新・修繕に係る費用の増加等、顕在化してきている課題をはじめとして、センター全体において抱える様々な課題を洗い出し、解決するための方策や設置運営形態など、センター全体のあり方について検討を行う。

公益財団法人滋賀食肉公社および株式会社滋賀食肉市場に係る経営健全化方針に基づく取組状況（令和6年度）

法人名： 公益財団法人 滋賀食肉公社

○法人の財務状況

(千円)

		平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算
貸借対照表から	資産総額	2,867,595	2,752,941	2,682,959	2,634,396	2,653,140	2,732,114
	1)流動資産	106,127	41,457	54,114	47,172	36,167	111,418
	うち現金預金	74,435	24,157	28,657	25,606	16,371	88,016
	うち売上債権	31,663	17,272	25,429	19,298	19,796	23,402
	2)固定資産	2,761,468	2,711,484	2,628,845	2,587,224	2,616,973	2,620,697
	うち基本財産	1,403,778	1,403,190	1,402,601	1,402,013	1,401,425	1,400,836
	負債総額	2,222,736	2,036,643	1,932,687	1,861,780	1,738,010	1,715,043
	1)流動負債	91,478	39,732	70,124	60,185	72,438	166,744
	2)固定負債	2,131,258	1,996,911	1,862,563	1,801,596	1,665,572	1,548,299
	うち県からの借入金	44,408	44,408	44,408	44,408	57,408	70,408
うち有利子負債	2,075,768	1,941,421	1,807,074	1,746,106	1,597,083	1,466,809	
正味財産合計	644,859	716,298	750,272	772,616	915,129	1,017,072	
正味財産増減計算書から	経常収益	407,082	402,762	427,276	413,917	477,482	476,073
	経常費用	378,337	373,088	412,154	397,257	426,900	442,200
	当期経常増減額	28,745	29,674	15,123	16,659	50,582	33,873
	当期経常外増減額	△ 39	△ 0	-	-	-	△ 96
	当期一般正味財産増減額	28,706	29,674	15,123	16,659	50,582	33,777
	一般正味財産期末残高	△ 951,716	△ 922,042	△ 922,042	△ 890,260	△ 839,678	△ 805,901
	当期指定正味財産増減額	46,804	41,765	18,851	5,685	91,931	68,165
指定正味財産期末残高	1,596,575	1,638,340	1,657,191	1,662,876	1,754,808	1,822,973	
正味財産期末残高	644,859	716,298	750,272	772,616	915,129	1,017,072	

公益財団法人滋賀食肉公社および株式会社滋賀食肉市場に係る経営健全化方針に基づく取組状況（令和6年度）

法人名： 株式会社 滋賀食肉市場

○主な取組状況

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- HACCP（危害分析・重要管理点）方式による衛生管理を徹底したと畜解体業務や食肉処理等の業務を行い、安全な食肉を安定的に供給した。
- と畜解体工程等でのHACCP運用状況確認を行うとともに、平成29年度に認証規格を取得したISO22000を更新した。
- 食品安全委員会を毎月開催するとともに、滋賀県食肉衛生検査所が主催する滋賀食肉センター業務調整会議に出席し、センターにおける衛生管理について情報交換、意見交換等を実施した。
- 令和5年度に策定した「（株）滋賀食肉市場中期計画」に基づき、自律的経営の実現、サービス・質の向上に向け、取扱頭数の適正な確保と業務の効率化、経費節減に努めた。

【県による財政的なリスクへの対処のための対応】

- 消費者に対する安全で安心な食肉の安定供給と、近江牛をはじめとした本県の畜産振興を目的とする滋賀食肉センターの業務の円滑化および安定経営の実現に向けた取組を支援した。
- 当法人の経営改善の取組状況について、外部有識者から意見を伺った。
- 滋賀食肉センターを開設してから約17年が経過するなかで、施設・設備の更新・修繕に係る費用の増加等、顕在化してきている課題をはじめとして、センター全体において抱える様々な課題を洗い出し、解決するための方策や設置運営形態など、センター全体のあり方について検討を行う。

公益財団法人滋賀食肉公社および株式会社滋賀食肉市場に係る経営健全化方針に基づく取組状況（令和6年度）

法人名： 株式会社 滋賀食肉市場

○法人の財務状況

(千円)

	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	
貸借対照表から	資産総額	468,880	339,475	379,960	416,569	400,859	507,740
	1)流動資産	457,314	328,511	369,282	406,469	390,958	497,392
	うち現金預金	213,308	153,307	208,548	195,564	213,269	278,286
	うち売上債権	243,511	175,230	160,655	211,304	175,476	219,271
	2)固定資産	11,566	10,963	10,678	10,100	9,901	1,048
	負債総額	787,351	619,072	602,929	592,988	526,475	589,031
	1)流動負債	646,892	486,787	478,112	464,670	449,129	495,701
	うち短期借入金	260,000	260,000	240,000	190,000	204,476	164,476
	2)固定負債	140,458	132,284	124,816	128,318	77,346	93,330
	うち県からの借入金	44,476	44,476	44,476	44,476	-	-
うち有利子負債	27,652	20,978	14,510	8,012	4,016	20,000	
純資産総額	△ 318,471	△ 279,597	△ 222,969	△ 176,419	△ 125,616	△ 81,291	
1)資本金	44,070	44,070	44,070	44,070	44,070	44,070	
2)繰越利益剰余金	△ 362,541	△ 323,667	△ 267,039	△ 220,489	△ 169,686	△ 125,361	
損益計算書から	売上高	530,341	548,578	720,947	555,794	475,792	482,685
	売上原価	107,292	136,155	300,614	121,518	1,818	2,328
	売上総利益	423,049	412,422	420,333	434,275	473,974	480,356
	販売費及び一般管理費	401,832	392,971	382,467	406,504	432,917	434,079
	営業利益	21,217	19,451	37,866	27,771	41,056	46,277
	経常利益	41,455	39,060	56,813	46,735	61,095	66,228
	法人税	186	186	186	186	10,292	21,903
	当期純利益	41,270	38,874	56,628	46,550	50,803	44,325

公益財団法人滋賀食肉公社および株式会社滋賀食肉市場に係る経営健全化方針に基づく取組状況（令和6年度）

□外部有識者による評価

○法人自らによる経営健全化のための具体的な取組に対する評価

（公財）滋賀食肉公社、（株）滋賀食肉市場

- ・ 経営改善計画の評価は、計画と実績を対比することで、達成要因や未達理由を明らかにし、次に何をすべきか考えることが重要。
- ・ 実効性のある計画は、運営実務でキーとなる人材を巻き込みながら作り上げ、その上で関係者がPDCAサイクルを回しながら実践することが必要。
- ・ 最終的にトップ（経営者）によって組織は決まると言っても過言ではない。いかに全体を見て経営できるようなリーダーを育てるか、あるいは外部から有能な人材を招へいするか等を考えなければならない。

○県による経営健全化のための具体的な対応に対する評価

- ・ 県の近江牛の振興施策は適切なものと評価できる。
- ・ 市場は利益が上がっており、その状況が続く見込みであれば、市場に対する県の補助金は柔軟な対応ができるよう見直しが必要。
- ・ と畜機能は、食のサプライチェーンの中でインフラ的な機能を果たしていると捉えた将来計画の策定が不可欠。
- ・ 市場の経営課題と、経営主体やスキームの課題は、視点が異なるため、必ず分けて整理し、議論をするべき。
- ・ 県が中心となり、あるべき姿を模索・検討されていることは方向性としては良い。
- ・ あるべき姿の次は、誰が関わり、どのように経営するか、の具体的な議論を進める必要がある。そのため、進め方に関する議論も必要となる。